

平成 21 年 3 月 30 日
新日本製鐵株式会社

羽田空港新滑走路に新日鉄のチタン薄板が大量採用

新日本製鐵株式会社（社長：宗岡 正二）は、新規用途開拓として、海洋建造物へのチタンの適用・拡大を推進しておりますが、このほど羽田空港 D 滑走路(新設)の棧橋部に用いられるチタンカバープレート(新日鉄エンジニアリング(株)が開発した防食・足場機能のある橋梁外装材製品)向けにチタン薄板を大量受注しました。本工事に使用されるチタン薄板は約 1000 トンで、建設分野でこれほどのチタンが大量に採用されるのは初めてのことです。

このカバープレートは、チタン薄板と塗装鋼板の間に不燃ウレタン芯材をサンドイッチしたパネル状のもので、滑走路棧橋部の下面・側面に設置されます。今回、このカバープレートの外面にチタンを適用することで、海上という高腐食環境において、耐用年数 100 年を標榜する滑走路棧橋部の長期防食を実現し、メンテナンス費用の大幅削減が可能となります。今後は一般的な道路橋の予防保全、ライフサイクルコスト最小化策としての活用も期待されています。

このように、当社は高耐食性というチタンが本来持つ特長を發揮できる用途・分野を開拓することにより、更にチタン需要の拡大に努めて参ります。

< 今回受注物件の概要 >

- ・ 工事名：「東京国際空港 D 滑走路建設外工事」
- ・ 施工面積：570,000 m²
- ・ チタン使用量：約 1000 トン
- ・ 運用開始：2010 年 12 月

(お問い合わせ先)

総務部広報センター TEL 03-3275-5021



(写真1) チタンカバープレート



(写真2) 新滑走路棧橋部製作現場



(写真3) チタンカバープレートが採用された新滑走路棧橋部